

大人の作って遊ぶ「連鶴折り講座」

皆さん誰もが作り上げることのできる折り紙の「鶴」ですが、江戸時代には大人の「遊び」として楽しまれていたのは御存じでしょうか。伊勢国桑名（現三重県桑名市）に住んでいた僧侶、魯縞庵義道が考案し広まった鶴の様々な折り形「連鶴折り」がそれにあたります。1枚の紙に切り込みを入れて数羽のつながった鶴を折る技法です。現在49種類の形が伝わっていますが、今回たいけんの里では連鶴折りの方法の初歩から上級編までの数種類を、4回にわたって作成する連続講座を開催します。「興味はあったけれど」という方や、「上手にできなかった」方など、1枚の紙で作ります楽しみを味わってみませんか。

開催日程と内容

日時	レベル	内容	参加費（材料費）
10月3日（土） 午後1時30分～3時30分	初心者編 （参加必須）	『「鶴」を正確に折る』 『連鶴折りの製図方法 楽々波（さざなみ）』	100円
11月7日（土） 午後1時30分～3時30分	初級編	『風車（かざぐるま）』 『昔男（むかしおとこ）』	100円
12月5日（土） 午後1時30分～3時30分	中級編	『芙蓉（ふよう）』 『釣舟（つりぶね）』	400円
2月6日（土） 午後1時30分～3時30分	上級編	『九万里（くまんり）』 『横雲（よこぐも）』	400円

※全日程の参加を前提とし、初回（10月3日）の参加が必須条件となります。

定員 先着8名 対象 小学5年生以上

申し込みは9月17日（木）午前9時30分から電子申請または電話（042-390-2161）にて受付



初心者編「楽々波」



初級編「昔男」



繋がっている部分



中級編「芙蓉」



拡大図

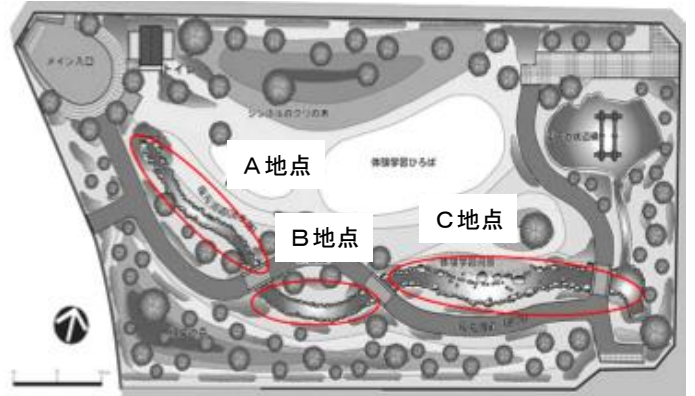
上級編「九万里」

しもやけべいせき

下宅部遺跡はっけんのもり水の生きもの調査

今回で11回目を数える、はっけんのもりの水生生物調査を7月12日(日)に行いました。調査は、たいけんの里職員とはっちこっくメイトボランティア2人の合計3人で行いました。はっけんのもりの河道は、下宅部遺跡全体を維持している自然の湧水に依存しており、水量も天候に左右されがちです。前の週の梅雨の雨が続きのおかげで、水は冷たくきれいな様子でした。

今年も大きな発見はなかったものの、コツコツと続けられる限り調査を行っていききたいと思います。



調査地点図

	① ニボシ	② 顆粒状の魚のエサ	③ ①+②	網などで捕獲
A 地点 水温 14℃	アメリカザリガニ 1 ヌズビ 2	アメリカザリガニ 1 ケシカビ・ロアムボ 1	ヌズビ 2 ケシカビ・ロアムボ 2 ユズリカ 1	カワゲラ 2
B 地点	ヌズビ 4	アメリカザリガニ 1 ユズリカ 1	アメリカザリガニ 2 ヌズビ 4	カワゲラ 1 ヌカ(?) 1
C 地点 水温 19℃	ヌズビ 3	ヌズビ 5	アメリカザリガニ 1 ヌズビ 14	

備考：A～Cの各地点に①～③の各種エサを入れたワナを、前日の夕方に仕掛けた。翌日、ワナを回収し捕まえたものを記録した。また網などで人の手で捕まえたものも同様に記録した。



上) カワゲラ
下) アメリカザリガニ

連載コラム はっちこっく図鑑

空襲と麦畑

【No. 66】



終戦の前年である昭和19年(1944)11月にもなると、東村山周辺でも米軍機の空襲が激しくなり、学校教育も空襲の合間に行なわれるような状況になっていました。当時、国民学校では警戒発令が出されると、児童の登校を中止させ、児童が在校している場合には急ぎ帰宅させることになっていました。

そのため、空襲警報のサイレンが鳴り響くと、米軍機がブーンブーンとうなりながら飛んでいる下を帰らなければなりません。大きな建物など建

っていませんでしたから、身を隠す場所は麦畑か茶の木の垣根くらいでした。背の高い竹林の方が適しているように思われますが、炸裂弾が竹に当たって四方八方へ跳ね返り、非常に危険なのだそうです。身をひそめながら空を見上げると、低空飛行する米軍機の操縦兵と目が合うこともあったそうです。

ところで、いくら児童でも麦畑に身を隠せるのだろうかと思われるかもしれませんが、茅場の少ない東村山周辺では小麦のわらを屋根材として使っていたので、丈の長い品種が植えられていました。上の写真(昭和13年(1938)撮影)を見てもわかるように、大人の腰あたりまで麦の丈があったのです。

現在の東村山では麦畑も見当たらず、多くの建物が建ち並ぶようになりました。写真を見ると、終戦70年の時の流れが感じられます。(大藪)

イベントカレンダー

8月 ★申込が必要 ●申込が不要						
日	月	火	水	木	金	土
16	17 休み	18 休み	19	20	21	22 ★
23 ★	24 休み	25 休み	26	27	28	29
30	31 休み					
9月 ★申込が必要 ●申込が不要						
日	月	火	水	木	金	土
		1 休み	2	3	4	5 ★
6	7 休み	8 休み	9	10	11	12
13 ★	14 休み	15 休み	16	17 ★	18	19 ★
20 ●	21	22	23 ★	24 休み	25 休み	26 ★
27 ★	28 休み	29 休み	30			
10月 ★申込が必要 ●申込が不要						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3 ★
4	5 休み	6 休み	7	8	9	10 ★
11 ★	12	13 休み	14 休み	15	16	17 ★

※都合により、イベント内容や時間の変更、また中止の場合もございます。あらかじめご了承下さい。

ほんかく体験 (★印 申込み必要 ●印 申込み不要)

★自然を楽しむ工作「シュロバッタづくり」(申込み受付中)

8月22日(土) 13:30~15:30 無料

★考古体験「親子縄文土器教室」(申込み受付中)

8月23日(日) 13:30~15:30 材料費 500円

★作ってあそぶ「ブンブンゼミ」(申込み受付中)

竹の筒を材料に、回すと音の出る玩具を作って遊びます。

9月5日(土) 13:30~15:30 材料費 200円

定員 先着10名(小学校3年生以下は保護者同伴)

★考古と自然のコラボ講座 (申込み受付中)

「縄文人が育てた大きな豆と小さな豆

—ツルマメとヤブツルアズキー—

縄文人の暮らしに関するお話のあと、現在の八国山に実際に見に行きます。

9月13日(日)14:30~16:30 保険代 100円

定員 先着20名(小学生以下は保護者同伴)

★身近な植物ではじめての草木染め

「マリーゴールド」(9月4日申込み開始)

9月17日(木)13:30~15:30

「クリのイガ」(10月4日申込み開始)

10月11日(日)13:30~15:30

材料費 100円~1,200円 定員 各日 先着10名

★八国山ガイド

「里山で利用されてきた植物」(9月4日申込み開始)

たいけんの里周辺で、野外で使える植物の観察と使う方法を体験してみます。

9月19日(土) 10:00~12:00 保険代 100円

定員 先着15名 持ち物 飲み物

●八国山ギャラリートーク「縄文時代の植物加工技術」

分析から明らかになった縄文人の巧みな生活について、写真や出土品を使って解説します。

9月20日(日) 13:30~15:30 当日受付

★里山×slow life

「シュロ de ほうきづくり」(9月4日申込み開始)

狭山丘陵パートナーズとの共催事業で、シュロほうきを作ります。

9月23日(祝)10:00~15:30 参加費 1,000円

定員 先着8名 小学校5年生以上

★自然を楽しむ工作「ドングリ工作」(9月17日申込み開始)

ドングリや小枝を使用して、かわいいトワールドを作ります。

9月26日(土) 13:30~15:30 材料費 100円

定員 先着12名(小学生以上)

★考古体験「縄文カゴづくり」(9月4日申込み開始)

下宅部遺跡の縄文の技術を学び、小さなカゴを編みます。

9月27日(日) 13:30~15:30 材料費 200円

定員 先着15名(小学生以下は保護者同伴)

★大人の作って遊ぶ「連鶴折り講座」(9月17日申込み開始)

10月3日(土)、11月7日(土)、12月5日(土)、2月6日(土)

(全4回 ※詳しくは2面をご覧ください)

★考古体験「縄文土器づくり」(9月17日申込み開始)

本物の縄文土器を手本にして、土器を作ります。

10月10日(土) 13:30~15:30 材料費 500円

定員 先着10名(小学生以下は保護者同伴)

★八国山ガイド(10月4日申込み開始)

「自然の見かた 観察入門秋冬編」

北山公園で自然観察のコツや楽しみ方を学びます。

10月17日(土) 13:30~15:30 保険代 100円

定員 先着15名 少雨決行

持ち物 飲み物、あれば小さいレジャーシート

お申込み・お問合せは

八国山たいけんの里

☎ 042-390-2161

受付時間 9:30~17:00

電子申請は市のホームページの「電子申請」からアクセス

1人1回までお申込み可能

ホームページ <http://www.city.higashimurayama.tokyo.jp/>

携帯電話用 <http://mobile.city.higashimurayama.lg.jp/>